



千葉大学ユニオンニュース 第66号 2011年10月3日

編集・発行：千葉大学ユニオンニュース委員会

千葉大学ユニオン事務局：西千葉キャンパス総合校舎G号館401室 メールアドレス：cuu@e-mail.jp
電話・FAX：043-290-2234 FAX専用：020-4666229 ☆職場でお気づきのこと、質問、ご意見をお寄せください。
ホームページ：<http://www.age.cc/~cuu/> 最新のニュースがご覧いただけます。千葉大学ユニオン掲示板：
(<http://218.45.28.246/chibaunion-bbs/unionbbs.cgi>) 学内から書き込みができます。

台風の被害は大丈夫でしたか。後期も始まりました。

皆さんとともに働きやすい職場の実現を目指していきます。

東葛キャンパスの放射線問題について

前号でもお伝えした通り、大学に放射線対策に関する質問書を7月27日付けで提出いたしました。そして8月9日付けで学長名により以下のような回答がありました。

【質問1】 現在までのところ、公表されている西千葉キャンパスでの環境放射線情報のほかに、付属小学校・幼稚園等を含む千葉大学の各キャンパス・敷地において、大気・土壌中の放射線量に関する調査等を千葉大学として実施しているか。

【回答】 千葉大学では、アイソトープ実験施設において、3月17日以降アイソトープ実験施設の屋内外の放射線量率を随時測定し、本学ホームページにより公表しています。

また3月28日からは文部科学省の依頼に基づき西千葉キャンパス屋外において毎日14時の積算空間放射線量を測定し報告しており、この結果は、文部科学省ホームページにおいて全国大学等の協力による空間放射線量として日々公表されています。なお、この報告については、8月10日以降、毎週水曜日14時に測定したデータにより行うこととなっています。

【質問2】 千葉大学として、この問題に対して今後何らかの施策を実施することが検討されているか。

【回答】 千葉大学では、東日本大震災による原子力発電所の事故を受け、放射線に関する正しい知識を身に付け、正しい対応がとれるよう、去る4月27日、独立行政法人放射線医学総合研究所の協力も得て、けやき会館大ホールを会場に午前と午後の2回、学生・教職員のほか市民にも開放した講演会を実施したところです。

放射能の問題については、引き続き国や自治体の発信する関連情報等も注視しつつ、適宜対応していくこととしていますが、この場合、社会に無用の混乱を招くことのないよう十分注意する必要もあると考えています。

以上

この回答をご覧になられたら分かると思いますが、特に松戸・柏の葉キャンパスに関しては、これまでの対策についても、今後も対策についても具体的な記述がありません。また2項目の回答をみますと、千葉大学で放射線量について本格

的に調査をしたり、独自に除染などをしたりすると、近隣住民ははじめ社会に不安をかきたてることになるのでは、といった懸念を持っているように読めます。仮に何かするにしても、国や地方自治体の決定や情勢もみて行うべき、といった考えではないかと思えます。

今後の対策等については、松戸・柏の葉における放射線のデータなどを基に、より詳細な調査を行い、場合によっては一部地域の除染などをするように提案することも考えられます。皆様方のご意見をお待ちしています。

過半数代表制とユニオンに関する問題

労働条件について基準を定める労働基準法には、使用者が労働者に時間外労働（残業）をさせたり、就業規則の内容を変えたりするといった場合に、ある事業場（ひとまとまりの作業が行われる単位で、千葉大学の場合には西千葉、亥鼻、東葛などに分かれています）で働く労働者の過半数を組織する労働組合がある場合にはその労働組合と、そのような過半数労働組合がない場合には、その事業場の労働者の過半数を代表する者（過半数代表者）と書面で協定をしたり、意見を聴取したりしなければならないことが定められています。

たとえば千葉大の西千葉事業場では、千葉大学ユニオン（労働組合）に教職員の過半数が加入しているわけではありませんので、ユニオンは上記の労使協定を結ぶことはできません。そうすると、大学が適法に労働者に残業をさせるには、ユニオンとは別に、西千葉で働く労働者の過半数を代表する者と協定を締結しなければならないこととなります。千葉大では、各部署の教職員の数に比例する数の代議員を選出して、その中から過半数代表者を選ぶという選出方法がとられています。この過半数代表者と代議員の役割は、労働基準法の観点から必要とされる法律上の手続にかかわるためだけのものです。

一方、教職員の賃金や休暇など労働条件全般について大学と交渉する役割は、労働組合である千葉大学ユニオンが担っています。ユニオンは教職員が自主的に組織する、大学からは独立した団体です。参加は任意で、その活動は、大学での職務とは別に、組合員の労働条件の維持や改善を目的として自主的に行われるもので、上記の過半数代表者の役割とは基本的に性格が異なります。実際には、ユニオンの組合員であ

る人が過半数代表代議員となっていることも多くて区別がつきにくいのですが、法律上は両者の役割は明確に分かれています。

第8期活動計画と報告

6月7日に開催された定期総会において、第8期の活動方針が審議され、大きく以下の3点が挙げられました。

- 1) 労働条件の改善と要求実現
- 2) 交流の拡大
- 3) ユニオンの拡大

この3本柱を軸に、今期の活動が進んでいますが、総会ではあまり議論されなかった項目に3.11原発事故による放射線問題があります。これについては、7月27日に学長宛に申入書を送付しました。千葉大学行動規範にある「3. 私たちは、学ぶ喜びをもって人格の陶冶と専門分野での探究に励む学生に、安全かつ快適な学習環境・施設を提供し、またそれを積極的に整備、改善して、学生の成長支援と健康維持に努めます」、「4. 私たちは、教育・研究、地域社会への貢献を円滑におこなうために、安全かつ快適な職場環境の整備に努め、自身の成長と健康維持に努めます」に則り、大学当局の対応を問うたものです。これに対する学長からの回答書は、本ニュースにも掲載している通りです。特に屋外学習・作業を中心とする松戸・柏の葉キャンパスでの状況が懸念されますので、今後も継続して見守るつもりです。

さらに労働条件については、教員を対象に裁量労働制の導入が検討されているのに対して、ユニオンとしての勉強を開始しています。既に検討されていたことではありますが、その得失がはっきりとは見えていません。またこの件に関しては、意見聴取の対象は過半数代表者であり、ユニオンではありません。この相違が執行部でもあいまいなため、本号では政策委員の皆川氏にそれぞれの意義を解説していただきました。また次号ニュースでは裁量労働制の得失を列挙し、教職員の皆様への情報提供を予定しています。

交流については、体育の日に予定されている駅伝大会、学祭にあわせて開催される職員総合作品展を成功に導くべく活動を行っています。組合員はもちろん、本号ニュースをご覧いただき多くの方にご参加いただきたいと思います。

ユニオン組織の拡充は重要な課題です。組織率は、正直申し上げて低いと言わざるを得ません。事務職員・技術系職員の中にユニオンを広げることは喫緊の課題でしょう。ホームページの充実はもちろんですが、インターネット掲示板の利用などによる、よりスムーズで効率的なコミュニケーション、問題解決の糸口の提供をさらに推し進める用意があります。

大学の置かれている環境もますます厳しくなり、それによって私たちの労働環境にも大きな変化が襲っています。こうした状況に負けず、大学が本来担うべき役割を再認識し、その役割を全職員が一体となって取り組める環境をめざして活動を行っていきたいと思います。ユニオン組合員はもとより

非組織の教職員の皆様からも広い理解と共感と支持を得られるユニオンをめざしますので、皆様のご協力をお願いします。

新入教職員歓迎・交流会の報告

7月1日に新入教職員の歓迎会が開催されました。当日は新規会員4名を含み22名の会員が集い、和やかに懇親会が進められました。また、昨年に続き齋藤学長もお見えになり、ユニオンの活動にご協力いただけること、大事なことは千葉大学をいかに盛り立てていくか、それには教職員一丸となって活動することの重要性などをお話し下さいました。

当日は、西千葉キャンパスで収集された小枝や小さな花をアレンジしたフラワーアレンジメントも飾られ、テーブルは一段と華やかであり、また清楚な雰囲気も演出して下さいました。

執行部にも新人が多いですが、この歓迎懇親会で絆を強くし、新しいスタートを切るべく決意をしました。(中山記)

職員作品展 参加募集

今年は東日本大震災という未曾有の大惨事があり、いまだ被災地の復興はなかなか進まないところもあり心痛める私たちではありますが、季節は夏から秋に変わり、全てに実りの季節になって参りました。

昨年度の作品展からはや1年が経ち皆様におかれましてはそれぞれ新たな作品が出来上がっていることと思います。成果を皆様に披露するとともに自分の成長のメモリアルになることを願いながら出展の御応募を心よりお待ち申し上げます。

職員作品展

日時：11月3日～6日（最終日は13時までです）

会場：松韻会館 大会議室・中会議室

お申込み・問合せ：中山茂樹（ユニオン事務局長）

nakayama.s@faculty.chiba-u.jp

第6回駅伝大会、皆様のご声援を

第6回千葉大学駅伝大会が10月10日(月・体育の日)に実施されます。

例年と同様に、スタート・ゴール地点を工学部裏(生研角地)とし、5区間によって距離差を付けた西千葉構内コースで実施します。皆様の沿道からの熱いご声援をお願い致します。

終了後には生協第1食堂で懇親会が行われ、参加費1人2千円でどなたでも参加できます。走った人も応援した人も一緒に飲んで飲みましょう！

詳細は構内のポスター、走友会HP(<https://sites.google.com/site/chibadaisoyukai/home/gakunaiekiden>)でご確認下さい。

編集後記 新編集担当の野村と申します。皆様と一緒に

加入申込書

電話・ファックス:043-290-2234 紙面作りを目指します。よろしく申し上げます。

千葉大学ユニオン委員長 保坂 亨 殿

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入します。 2011年 月 日

ご氏名:

ご所属: